

## 5 都市計画道路の整備について

【提案・要望先】 国土交通省

堺市国土強靱化地域計画取組事業

～提案・要望事項～

- 都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的とした道路ネットワークの早期形成に必要な予算を十分に確保すること。

### 【現状と課題】

- 道路ネットワークに未整備区間が存在し、道路機能が十分発揮されていない。
- 災害時に備えた都市防災機能の強化が必要。  
(大阪府地震防災緊急事業五箇年計画)
- ストック効果(緊急時の代替道路確保、地域振興、交通円滑化等)を最大限に発揮するためにも重要な都市基盤である道路整備の推進が必要。  
※ストック効果とは、道路が整備され供用されることで、人流・物流の効率化、民間投資の誘発や観光交流、人口・雇用などを増加させ、長期にわたり経済を成長させる効果

### ◆事業終盤で早期に整備効果(ストック効果)が発現される事業

事業	諏訪森神野線 完了期間宣言路線：平成31年度(2019年度)	新家日置荘線 完了予定：平成31年度(2019年度)
状況	 <p>H30.3 一部区間供用</p> <p>鉄道立体交差部は事業中</p>	 <p>一部供用区間</p> <p>道路築造工事→駅前広場の順序で整備が必要</p>
問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道立体交差部におけるJRへの委託工事(協定期間：H23～H31)で必要義務額あり</li> <li>・完成に残り約4.6億円必要(国費ベース)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地買収はほぼ完了しているが、交付金配分不足により道路築造工事と駅前広場整備が進まない。</li> <li>・完成に残り約1.1億円必要(国費ベース)</li> </ul>
整備効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 防災性の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市唯一の三次救急医療機関『堺市立総合医療センター』へのアクセス性向上による救命救急機能の強化</li> <li>・津波避難路の確保</li> <li>・延焼遮断効果</li> </ul> </li> <li>② 通学路の安全性向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・堺市通学路交通安全プログラムに基づく歩行空間の整備</li> </ul> </li> <li>③ 交通の円滑化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR交差部における交互通行の解消による交通の円滑化</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 防災性の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定避難所、災害時用臨時ヘリポートへのアクセス性向上による災害時における避難機能の強化</li> <li>・延焼遮断効果</li> </ul> </li> <li>② 通学路の安全性向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行空間の整備</li> </ul> </li> <li>③ 交通の円滑化(交通結節点の改善) <ul style="list-style-type: none"> <li>・本路線及び駅前交通広場の整備により、駅西側から南海高野線初芝駅へのアクセス性向上及び駅東側に集中している交通混雑の緩和</li> </ul> </li> </ul>

## ◆最重要路線

- 出島百舌鳥線 -世界文化遺産登録国内候補「百舌鳥・古市古墳群」へのアクセス道路-  
 本事業は、文化庁よりユネスコ世界遺産センターへの世界文化遺産推薦書が提出された「百舌鳥・古市古墳群」の中でも最大の「仁徳天皇陵古墳」に至るアクセス道路整備及び来訪者の玄関口でもある JR 阪和線百舌鳥駅の駅前広場整備を行う。

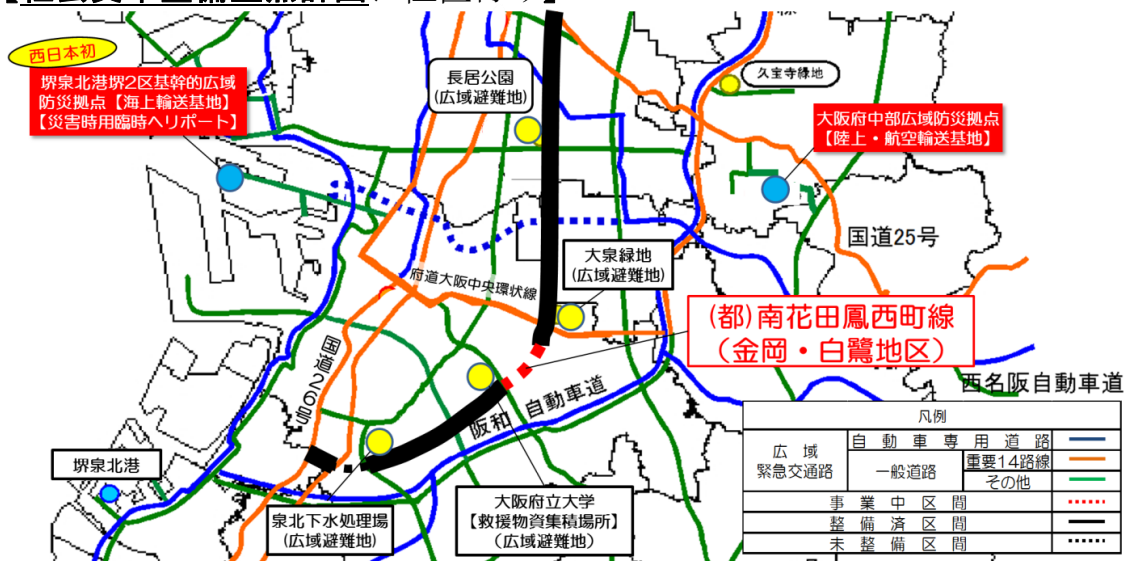
### 整備効果

- ① 防災性の向上 … **広域避難地（大仙公園）へのアクセス性向上**
- ② 通学路の安全性向上 … 歩行空間の整備
- ③ 交通の円滑化 … 交通量の増加が見込まれる仁徳天皇陵古墳へのアクセス性向上及び**交通混雑の緩和**

- 南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区） -本市における環状軸-

### 【社会資本整備重点計画に位置付け】

※大阪府地域防災計画引用



### 整備効果

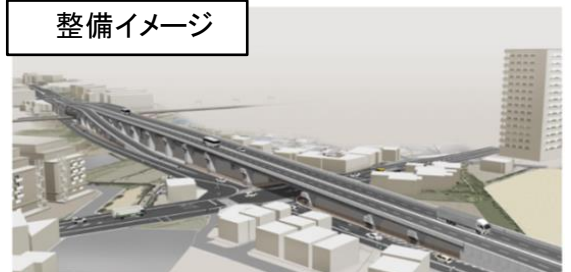
- 防災性の向上

➢災害時において、輸送基地（堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点、大阪府中部広域防災拠点）と広域避難地（大阪府立大学、大泉緑地、長居公園、泉北下水処理場）を結ぶ道路ネットワークを形成し、緊急輸送路（国道26号、府道大阪中央環状線等）を補完する**代替路**として、救急・救援及び緊急物資の受入れを迅速に実施することが可能。

- 交通の円滑化

➢国道26号と府道大阪中央環状線を結ぶ環状軸を形成し、**ミッシングリンクの解消**による道路ネットワークの強化が図られる。

### 整備イメージ



**防災機能の強化や安全な道路交通環境の創出による都市魅力向上のため、財源の確保が必要！**

## ◆事業費及び国庫補助額（諏訪森神野線は通学路事業に計上）

	平成29年度	平成30年度	平成31年度(見込額)
事業費【街路事業】	733,131千円	332,810千円	4,112,000千円
事業費【通学路事業】	—千円	1,262,225千円	829,870千円
国庫補助額【街路事業】 (要望額)	401,973千円 (2,100,540千円)	166,405千円 (1,598,300千円)	2,056,000千円
国庫補助額【通学路事業】 (要望額)	—千円 (—千円)	694,042千円 (788,700千円)	456,429千円

### 【本件に関する連絡先】

建設局 道路計画課長 根兵 直樹 (TEL:072-228-7423)